

P. 1

市		副		建設		財政		主管		課長		課長		検査		設計	
長		市長		部長		課長		課長		補佐				者		者	

(0810900039-0)

工 種	河川維持工事	工 事 番 号		設 計 年 月 日	令和 8 年 10 月 1 日
工 事 箇 所	富谷市 明石、今泉 地内				
路 線 ・ 河 川 名					
令和 8 年度 準用河川小野目川侵入防止柵設置他工事 富谷市					
工 期	令和 年 月 日	着 工 期 日	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日	竣 工 期 限	令和 年 月 日		
本 工 事 費	円 (消費税相当額 円)		工 事 価 格 円		

(0810900039-0)

P. 2

＜ 概 要 ＞	
築堤・護岸	
準用河川小野目川進入防止柵設置工	
進入防止柵設置工 単管φ48.6 H=1.0m 2段 ｽﾊﾟﾝ>2.0m	L=96m
準用河川沼田川 その1 L=7.0m その2 L=13.0m	L=20m
河川土工	1 式
法面整形(盛土部)	A=20㎡
大型土のう撤去	N=36袋
大型土のう再設置	N=36袋

本 工 事 内 訳 表					
12:河川維持工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
築堤・護岸	式	1			
明石台調整池水路工	式	1			
侵入防止柵設置工 φ48.6 2段 スパ>2.0m L=96m	式	1			第1号明細表
河川土工	式	1			
掘削工	式	1			
掘削(土砂)	m3	5			第2号明細表
盛土工	式	1			
盛土(購入土)	m3	6			第3号明細表
残土処理工	式	1			
残土処理	m3	5			第4号明細表

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
12:河川維持工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
購入土	式	1			
購入土	m3	6			第5号明細表
吸出し防止材(全面)設置	m2	53			第1号単価表
法面整形工	式	1			
法面整形(盛土部)	m2	20			第6号明細表
仮設工	式	1			
大型土のう撤去 作業半径6m以下 -3m≤H≤2m	袋	36			第2号単価表
大型土のう設置(再設置含む) 作業半径6m以下 -3m≤H≤2m	袋	36			第3号単価表
直接工事費	式	1			
共通仮設費	式	1			

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
12:河川維持工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
率計算分	式	1			
運搬費	式	1			第7号明細表
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
率計算分	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
一般管理費	式	1			
率計算分	式	1			
契約保証費	式	1			

富谷市

本 工 事 内 訳 表					
12:河川維持工事					
費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格	式	1			
消費税等相当額	式	1			
本工事費	式	1			

富谷市

第1号の1							φ48.6 2段 スパン2.0m L=96m	
侵入防止柵設置工 1式当たり明細表								
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
土木一般世話役	人							
特殊作業員	人							
普通作業員	人							
運転手 (特殊)	人							
運転手 (一般)	人							
小型バックホウ(クローラ型) 損料 標準型・クレーン機能付・排対型 (第2次基準値) 山積0.11m3 (平積0.08m3) 吊能力0.8t	日							
コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン) アンカー材径67mmを超え80mm以下 削孔深500mm以下	孔	50				第4号単価表		
発動発電機損料 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	日							
鋼管杭 φ48.6mm L=1,541mm	本	50						
単管パイプ φ48.6mm L=4,000mm	本	48						

富谷市

第1号の2							φ48.6 2段 スパン2.0m L=96m	
侵入防止柵設置工 1式当たり明細表								
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
直交クランプ φ48.6mm用	個	100						
直線ジョイント φ48.6mm用	個	46						
クランプカバー	個	100						
単管キャップ	個	8						
Co殻運搬処理	m3	0.05				第5号単価表		
建設廃棄物処理費 中間処理・再生資源化施設 仙台東 東北黒沢建設工業㈱ 鶴巣リサイクルセンター コンクリート無筋	t	0.1						
合 計	式	1						

富谷市

第2号

掘削(土砂) 1m3当たり明細表

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	m3	1				第6号単価表
合 計	m3	1				

富谷市

第3号

盛土(購入土) 1m3当たり明細表

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	m3	1				第7号単価表
合 計	m3	1				

富谷市

第4号

残土処理 1m3当たり明細表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土砂等運搬 小規模ハツ杓山積0.28m3 (平積0.2m3) DID区間無し 運搬距離1.0km以下	m3	1				第8号単価表
合 計	m3	1				

富谷市

第5号

購入土 1m3当たり明細表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
粘性土	m3	1				
合 計	m3	1				

富谷市

第6号 法面整形(盛土部) 1m2当たり明細表						
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
法面整形 盛土部 は質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め有り 現場制約無し	m2	1				第9号単価表
人工芝 張芝用ワラ付幅100cm	m2	1				
合 計	m2	1				

富谷市

第7号 運搬費 1式当たり明細表						
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
建設機械の貨物自動車等による運搬	車・回	2				第13号単価表
合 計	式	1				

富谷市

第1号		SPG2203110 J01		吸出し防止材（全面）設置 1m2当たり単価表		II-2-③-21					
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
普通作業員		人									
土木一般世話役		人									
吸出防止材 1.0tf/m t=10mm		m2									
施工パッケージ単価		m2	1								
合 計		m2	1								

富谷市

0610500059-0/ 1 地区

1. 10

第2号 S251218 J01

大型土のう撤去 10袋当たり単価表

作業半径6m以下 -3m≦H≦2m
II-5-⑩-9

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
バックホウ(クローラ型) 運転(賃料) 山積0.80m3 (平積0.60m3) 2.9t吊	日					第10号単価表
諸雑費	%	0.4				
合 計	袋	10				
単位当り	袋	1				

富谷市

大型土のう設置(再設置含む) 10袋当たり単価表

第3号 S251216 J01

作業半径6m以下 -3m≦H≦2m
II-5-10-8

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ(クローラ型)運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3)2.9t吊	日					第11号単価表
諸雑費	%	0.2				
合 計	袋	10				
単位当り	袋	1				

富谷市

コンクリート削孔(電動式コアドリリングマシン) 1孔当たり単価表

第4号 SPG4313010 J02

アカー材径67mmを超え80mm以下
削孔深500mm以下
IV-3-13-3

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
ダイヤモンドビット 90.8mm スタンダード	個					
施工パッケージ単価	孔	1				
合 計	孔	1				

富谷市

Co殻運搬処理 1m3当たり単価表

第5号

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
殻運搬 コンクリート(無筋) 構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下	m3	1				第12号単価表
合 計	m3	1				

富谷市

掘削 1m3当たり単価表

第6号 SPG2102010 J02

土砂 上記以外 (小規模)
標準
Ⅱ-1-②-7

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ(クローラ型) 損料 標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m3(平積0.2m3)	供用日					
運転手(特殊)	人					
軽油 ハトール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				

富谷市

第7号		SPG2102040 J01				路体（築堤）盛土 1m3当たり単価表		施工幅員2.5m未満 Ⅱ-1-②-22			
名称・規格・条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
振動ロー[舗装用] (ハンド・カイト式)											
運転質量 0.8～1.1t		日									
普通作業員		人									
特殊作業員		人									
軽油 ハンドロール給油 1.2号		L									
施工パッケージ単価		m3	1								
合 計		m3	1								

富谷市

第8号		SPG2102020 J01		土砂等運搬 1m3当たり単価表		小規模 トラック山積0.28m3 (平積0.2m3) D1D区間無し 運搬距離1.0km以下 Ⅱ-1-②-13					
名称・規格・条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
タンクトラック損料 オンロード・ディーゼ 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		供用日									
運転手(一般)		人									
軽油 ハンドロール給油 1.2号		L									
施工パッケージ単価		m3	1								
合 計		m3	1								

富谷市

第9号 SPG2201010 J01 法面整形 1m2当たり単価表 盛土部 は質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め有り 現場制約無し II-2-①-4						
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホ [クローラ型] 山積0.8m3 (平0.6m3)	日					
普通作業員	人					
運転手 (特殊)	人					
土木一般世話役	人					
軽油 ハ トロ-ル給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m2	1				
合 計	m2	1				

富谷市

第10号 S028030 J01 バックホ (クローラ型) 運転 (賃料) 1日当たり単価表 山積0.80m3 (平積0.60m3) 2.9t吊						
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手 (特殊)	人					
軽油 ハ トロ-ル給油 1.2号	L	101				
バックホ [クローラ型クレーン付] 山積0.8m3吊2.9t	日					
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				

富谷市

第11号 S028030 J04 ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ(ｸﾛｰﾗ型) 運転(賃料) 1日当たり単価表 山積0. 80m3 (平積0. 60m3) 2. 9t吊						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手(特殊)	人					
軽油 ﾊﾞﾄﾛｰﾙ給油 1. 2号	L	99				
ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ [ｸﾛｰﾗ型ｸﾚｰﾝ付] 山積0. 8m3吊2. 9t	日					
諸雑費	式	1				
合 計	日	1				

富谷市

第12号 SPG2225010 J01 殻運搬 1m3当たり単価表 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋) 構造物とりこわし D1D区間無し 運搬距離8. 0km以下 Ⅱ-2-25-1						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ損料 ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｲｴｰﾙ 10t積級(ﾀｲヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日					
運転手(一般)	人					
軽油 ﾊﾞﾄﾛｰﾙ給油 1. 2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				

富谷市

建設機械の貨物自動車等による運搬 1車・回当たり単価表						
第13号 S101010 J01		I-2-②-12				
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
基本運賃料金	台	1				
その他の諸料金	式	1				
建設機械の運搬中の供用日当り損料	供用日					
合 計	車・回	1				

富谷市

単 価 一 覧 表						
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
吸出し防止材（全面）設置	m2					第1号
大型土のう撤去 作業半径6m以下 -3m≤H≤2m	袋					第2号
大型土のう設置（再設置含む） 作業半径6m以下 -3m≤H≤2m	袋					第3号
コンクリート削孔（電動式コアローリングマシン） アンカー材径67mmを超え80mm以下 削孔深500mm以下	孔					第4号
Co殻運搬処理	m3					第5号
掘削 土砂 上記以外（小規模） 標準	m3					第6号
路体（築堤）盛土 施工幅員2.5m未満	m3					第7号
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3（平積0.2m3） D/D区間無し 運搬距離1.0km以下	m3					第8号
法面整形 盛土部 土質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め有り 現場制約無し	m2					第9号
バックホウ（クローラ型）運転（賃料） 山積0.80m3（平積0.60m3）2.9t吊	日					第10号

富谷市

単 価 一 覧 表						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ(クロー型) 運転(賃料) 山積0.80m3(平積0.60m3) 2.9t吊	日					第11号
裁運搬 コンクリート(無筋) 構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下	m3					第12号
建設機械の貨物自動車等による運搬	車・回					第13号
鋼管杭 φ48.6mm L=1.541mm	本					
粘性土	m3					
単管パイプ φ48.6mm L=4,000mm	本					
直交クランプ φ48.6mm用	個					
直線ジョイント φ48.6mm用	個					
クランプカバー	個					
単管キャップ	個					

富谷市

積 算 情 報 表

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	週休2日の補正	0：補正しない
変更回数	当初	(週休2日) 交替制工事	なし
積算基準パターン	41:令和7年度国交省諸経費改訂(消費税10%)R7週休2日補正	一般管理費補正率	0%
施行主体名	富谷市	契約保証費率	金銭的保証
設計書名(1行目)	準用河川小野目川侵入防止柵設置他工事	着工年月日	令和 年 月 日
設計書名(2行目)		竣工期限	令和 年 月 日
設計書名(3行目)		工期開始	令和 年 月 日
工事箇所	富谷市 明石、今泉 地内	工期終了	令和 年 月 日
路線・河川名		工期日数	0日
工事番号		工種名	河川維持工事
設計年度	令和08年度	請負人	
設計年月日	令和08年10月01日		
単価適用日付	令和08年10月01日 (96)		
単価適用地区	01 地区		
適用率(工種区分)	12 河川維持工事		
間接工事費の被災地補正	0：補正しない		
前払金支出割合区分	35%を超える		
共通仮設費補正	補正しない		
現場環境改善費	計上しない		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	補正しない		
現場管理費率の補正(施工時期)	なし		

富谷市

特記仕様書

令和8年4月1日以降公告案件から適用

施工条件明示書

工事番号	項目		工事名	令和8年度 準用河川小野目川進入防止柵設置他工事	事務所名				
項 目			条 件	内 容	施 工 方 法		備 考		
1 共通仕様書の適用			本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。						
2 主任技術者及び監理技術者（以下、配置技術者という。）の配置									
(1) 現場施工に着手する日の指定 （配置技術者の配置要件の特例） ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」			●	契約工期初日以降、90日以内に着手 （手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能）					
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事（フレックス工事）			○	契約工期初日以降、○○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。					
(3) 上記以外			○	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手					
上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html									
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置									
			建設業法第26条第3項ただし書の規程（以下「専任特例」という。）の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事の主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（CORIINS）への登録を行うこと。						
4 積算基準及び設計単価の適用期日									
(1) 積算基準及び設計単価の適用について			●ある	○ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。				
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更			○ある	●ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。				
			適用「なし」の理由		(例) ・本工事は災害に伴う応急仮工事であり、積算及び契約が同月となる見込みであるため。				
5 工程関係									
(1) 関連工事による施工時期の調整			○ある	●ない					
(2) 施工時期による制限			○ある	●ない					
(3) 関係機関等との協議の未成立			○ある	●ない					
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加			○ある	●ない					
6 公害対策関係									
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限			●ある	○ない	低騒音建設機械の使用				
7 安全対策関係									
(1) 交通安全施設等の指定			○ある	●ない					
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限			○ある	●ない					
8 排水工関係									
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性			○ある	●ない					
9 建設副産物対策関係（建設発生土）									
(1) 建設発生土の処理・処分について			本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。						
			処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考	
			名称	所在地					
(2) 建設発生土	処理・処分	●ある	○ない	棚倉産業(株) 仙北事業所	黒川郡大郷町 東成田字板谷 西山39-1	残土処分	8.2 km	時 分 ～ 時 分	

16 その他			
(1)舗装の下請制限について	☐ ある	☒ ない	土木工事共通特記仕様書第1編1ー1ー3によること。
(2)「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	☐ ある	☒ ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。
(3)三者会議の対象の有無	☐ ある	☒ ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1ー1ー5によること。
(4)貸与資料の有無	☐ ある	☒ ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()
(5)発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	☐ ある	☒ ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。
(6)法定外の労災保険の付保について	本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。		
(7)熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無	☒ ある	☐ ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。
(8)盛土規制法について	本工事において、盛土規制法の規制対象となる行為を行う場合は、事前に手続き方法等について発注者と協議すること。 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentakuru/morido.html		

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件		内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	☐ 対象	☒ 対象外	1. 下記①、②、③に該当する工事のうち、発注者が適用対象とした工事が対象となる。 ① 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な土工数量1,000m3以上ある工事 ② 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な新設する路盤数量又は切削面積3,000m2以上ある工事 ③ ICT土工、ICT舗装工以外の工種で「ICT活用工事実施要領」(国土交通省)が定められている工種を含む工事 2. 活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 3. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。※簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型・試行型)の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。 4. 設計変更の積算法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとし、受発注者協議により決定した技術を設計変更の対象とする。なお、受発注者協議により、活用提案を実施しないこととなった場合、「ICT施工・3次元化等の活用提案」は履行されたものとして取り扱い、履行確認を行う。
18 BIM/CIMの活用の有無			
(1)BIM/CIM活用工事の対象	☐ 対象	☒ 対象外	1.本工事は、BIM/CIM活用工事の対象工事である。実施にあたっては「BIM/CIM適用工事実施要領」に基づき行うこと。 2.BIM/CIM適用工事実施要領を適用する工事で、発注方法に総合評価落札方式の簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型・試行型)を適用する工事は「施工計画等」や「技術提案等」(いわゆる作文)に関する評価項目において、BIM/CIMに関する提案を評価の対象外とする。
(2)BIM/CIM活用工事の発注型式	☐ 発注者指定型	☒ 対象外	【発注者指定型】(記載例) 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与した属性情報:部材名称、部材寸法 想定する活用目的、活用内容等は以下のとおりである。 活用目的:住民説明において、3次元モデルによりわかりやすく事業計画を説明することにより、円滑かつ確実に合意形成を図ることを目的とする。 活用内容:本事業の住民説明においては、事業計画のフェーズに沿った現道切り回しの状況を説明し、工事開始後の生活上の支障等を確実に伝達する必要があることから、各フェーズにおける状況を3次元モデルにより表現する。 作成する3次元モデル:地形モデル、土工形状モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与する属性情報:部材名称、部材寸法 費用については、受発注者で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。 なお、上記以外の内容における3次元モデルの活用についても、受注者の希望により実施することが可能である。
	☐ 受注者希望型		【受注者希望型】(記載例) 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与した属性情報:部材名称、部材寸法 BIM/CIMの活用を希望する場合は、工事受注後、監督職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。 費用については、受発注者で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。
19 業務効率化			
(1)工事情報共有システムの活用	☐ 対象	☒ 対象外	本工事は、情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム実施要領」及び「土木工事・業務の情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	☐ あり	☒ なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタンス等の推進	本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)		
20 週休2日工事の適用の有無			
(1)週休2日工事	☐ 対象	☒ 実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。
(2)週休2日工事の種別	☒ 現場閉所型	☐ 交替制	実施困難工事 (例) の理由 ・応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日の確保が困難なため 現場閉所型:巡回・パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交 替 制 :現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3)週休2日工事の区分	当初発注においては、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組む場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。 協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組み、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。		

21 女性活躍推進工事の適用の有無			
(1)女性活躍推進工事	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。		
22 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無			
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	☐ 対象	☒ 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「下請承認事務簡素化モデル工事」実施要領に基づき、行うこととする。

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件		内 容	施 行 方 法	備 考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用					
(1)労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。))について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 12.82% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.52% 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。		
(2)労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更					
(1)遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある	●ない	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。 また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。	受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項	
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算					
(1)施工箇所が点在する工事積算方法の対象工事	○ある	●ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
26 その他					
(1)土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある	●ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(2)東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	○ある	●ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1		

特 記 事 項

1 追加事項1			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
2 追加事項2			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
3 追加事項3			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
4 追加事項4			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
5 追加事項5			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
6 追加事項6			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
7 追加事項7			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

数量総括表

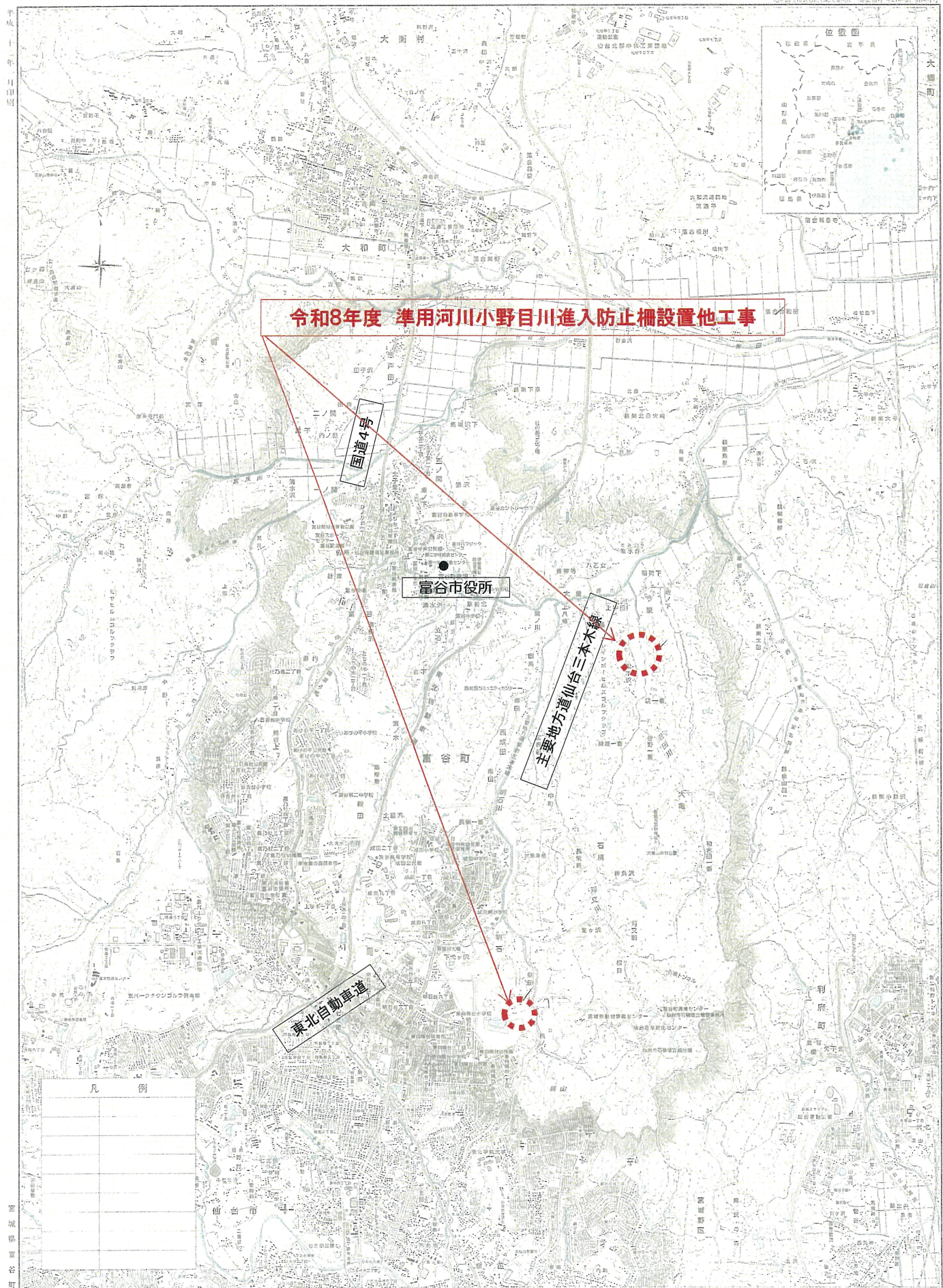
[illegible]

No.	工種	上段:種別 下段:細別	単位	数量	【全体工程表】				
					12/1	12/21	1/10	1/30	
					1	21	41	61	
					12/29～1/3(6日):年末年始休暇				
1	準備工	準備工	式	1	準備工_30日				
		1				36			
2	準備工	準備工	式	1	水路安全柵設置工_5日				
						37	41		
3	河川土工	掘削工	m3	5	掘削(土砂)_1日				
						37	37		
4	河川土工	盛土工	m3	5	盛土(購入土)_1日				
						37	37		
5	河川土工	残土処理工	m3	5	残土処理_1日				
						37	37		
6	河川土工	購入土	m3	5					
7	河川土工	法面整形工	m2	20	法面整形(盛土部)_1日				
						37	37		
8	河川土工	法面整形工	袋	36					
9	河川土工	法面整形工	袋	34					
10	後片付け工	後片付け工	式	1	後片付け工_20日				
						37		56	

「バーチャートは、土日、祝日期間を控除して表示されますが、
これらの抑制期間は雨休率に含まれていますので注意願います。」

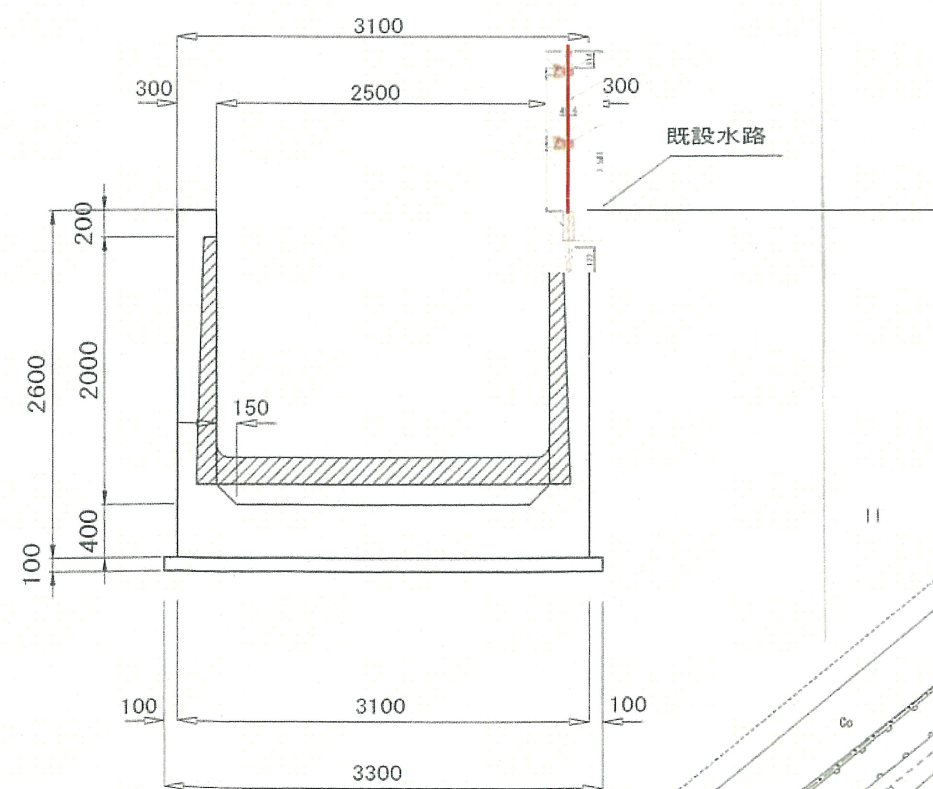
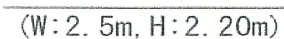
位置図

この図は、国土利用計画の作成に当たり、関係機関等と協議の上、作成したものである。

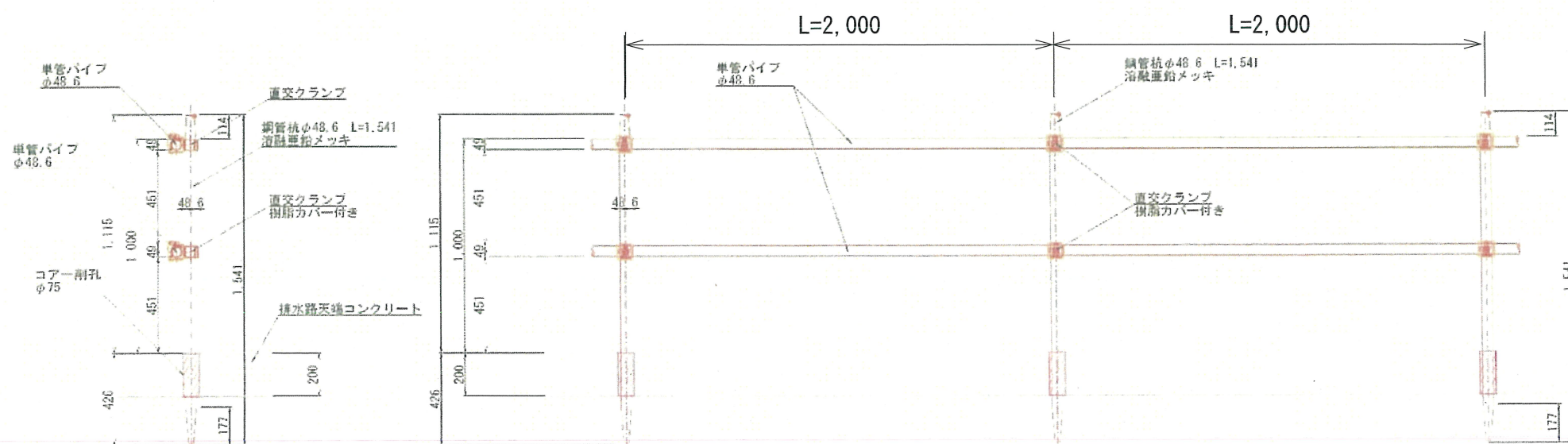
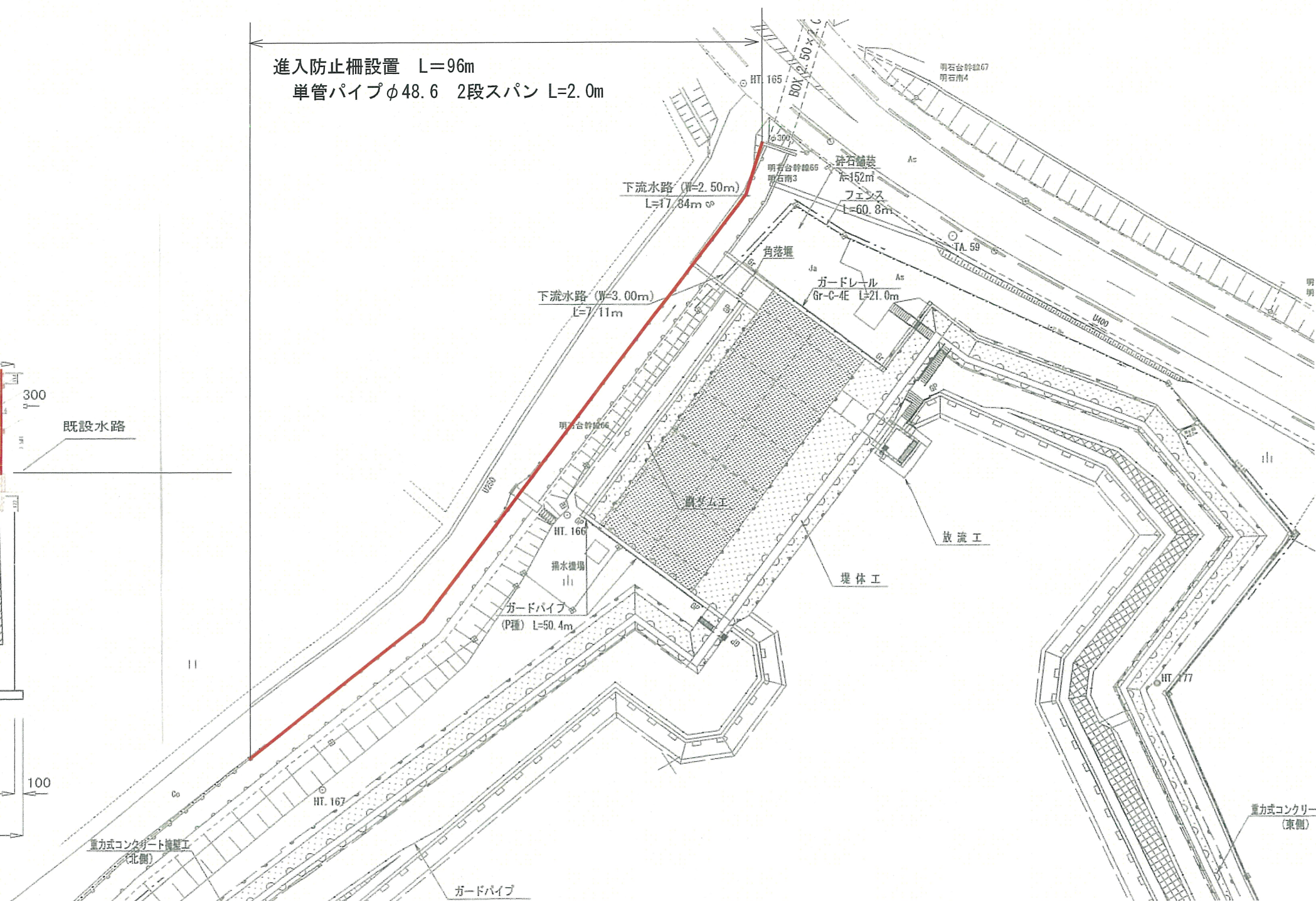
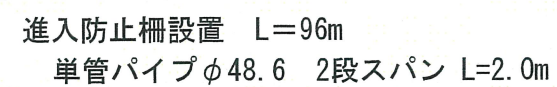




この図面は位置的なものを示すものであり権利関係には使用できません



保安柵標準図

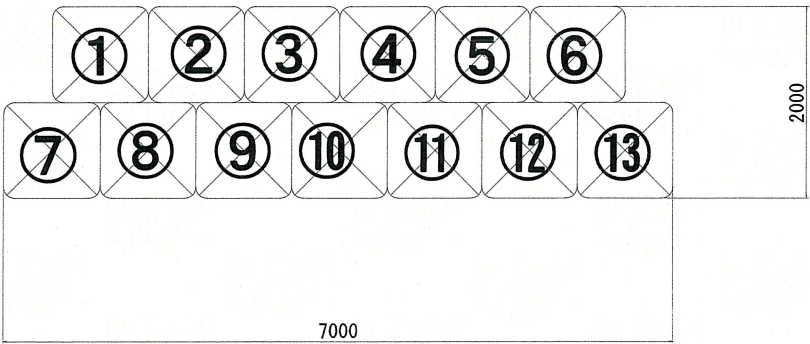


路線名	
箇所	準用河川 小野目川
工事名	令和8年度 準用河川小野目川侵入防止柵設置他工事
図名	平面図
縮尺	N≠S

準用河川沼田川護岸補修

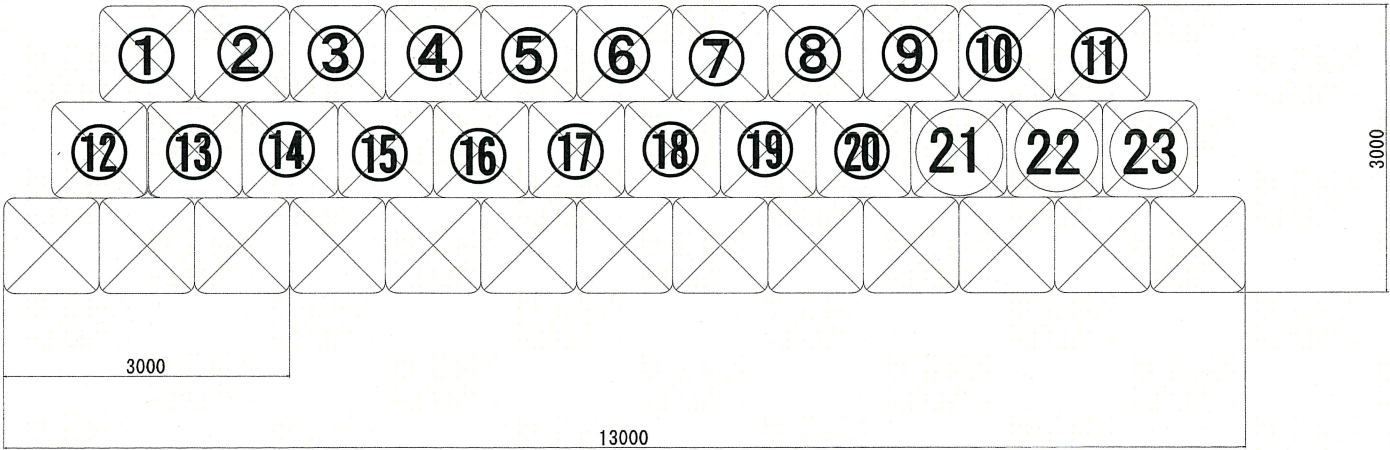
① L=7.0m 計画平面図

大型土のう撤去・再設置 N=13袋

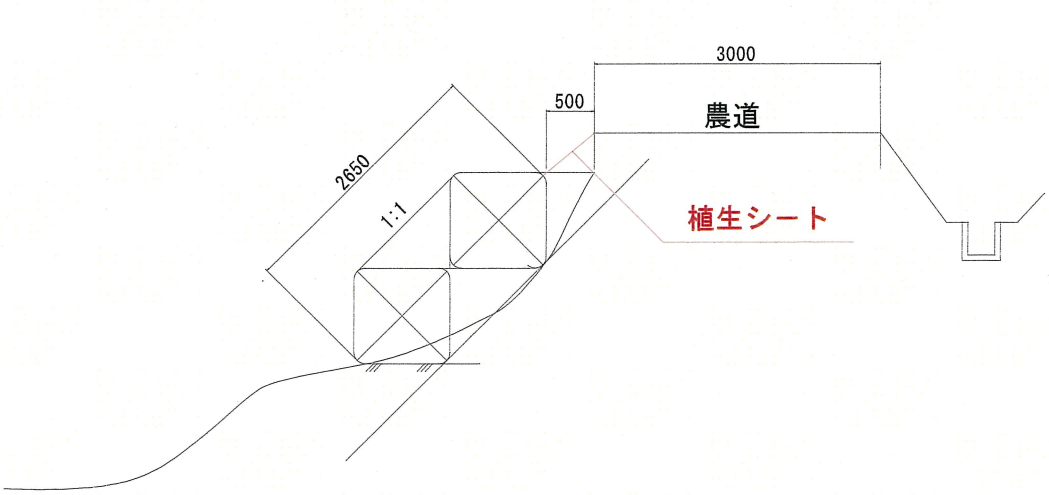


② L=13.0m 計画平面図

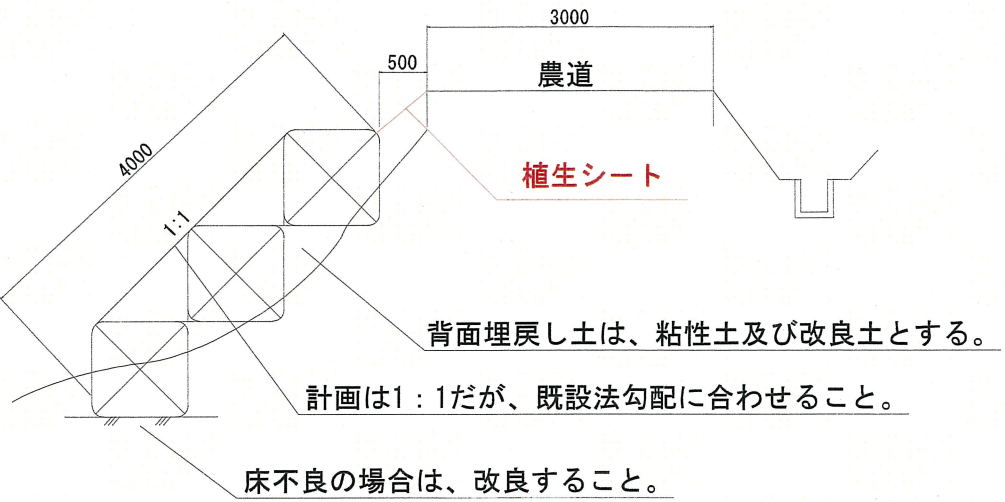
大型土のう撤去・再設置 N=23袋



① 二段積み 計画断面図



② 三段積み 計画断面図



路線名	
箇所	準用河川 沼田川
工事名	令和8年度 準用河川小野目川侵入防止柵設置他工事
図名	平面図
縮尺	N≠S